

お知らせ

記者発表資料 配布日	平成29年 4月17日
---------------	-------------

■同時発表先：岡山県政記者クラブ
倉敷市記者クラブ

中世の山城 南山城跡の埋蔵文化財発掘調査

～小田川合流点付替え事業に伴う埋蔵文化財発掘調査を行います～

国土交通省中国地方整備局では、高梁川水系直轄河川改修事業（小田川合流点付替え）を平成26年度に事業化しており、平成30年度に仮設工事着手、その後おおむね10年での完成を目指し、鋭意検討を進めております。

このうち、小田川の新河道として開削される予定地には中世の山城である南山城跡が所在するため、以下のとおり埋蔵文化財の発掘調査を実施します。

キーワード： 小田川合流点付替え、埋蔵文化財調査、城跡

記

期 間：平成29年4月～平成31年3月末（予定）

場 所：岡山県倉敷市真備町川辺ほか

調査概要：別紙1、別紙2

事業概要：別紙3

<補足>

事業者である国土交通省岡山河川事務所では、埋蔵文化財発掘調査を岡山県教育委員会に委託し行っています。

<問合せ先>

国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所

TEL (086) 223-5186 (計画課直通)

FAX (086) 232-4195

【担当】

副所長（技術）

しもやま しげる
下山 茂

計画課長

はまもと けんたろう
濱本 賢太郎

小田川合流点付替え事業に伴う埋蔵文化財発掘調査

1 調査の概要

小田川合流点付替え事業に伴い、事業地内に所在する埋蔵文化財について、工事施工前に発掘調査を実施し、記録保存を行う予定です。

2 遺跡の状況

遺跡名	所在地	遺跡の概要	調査予定面積	摘要
南山城跡	倉敷市真備町 川辺ほか	中世の山城跡	4, 320㎡	発掘調査

3 発掘調査場所



4 南山城跡全体図

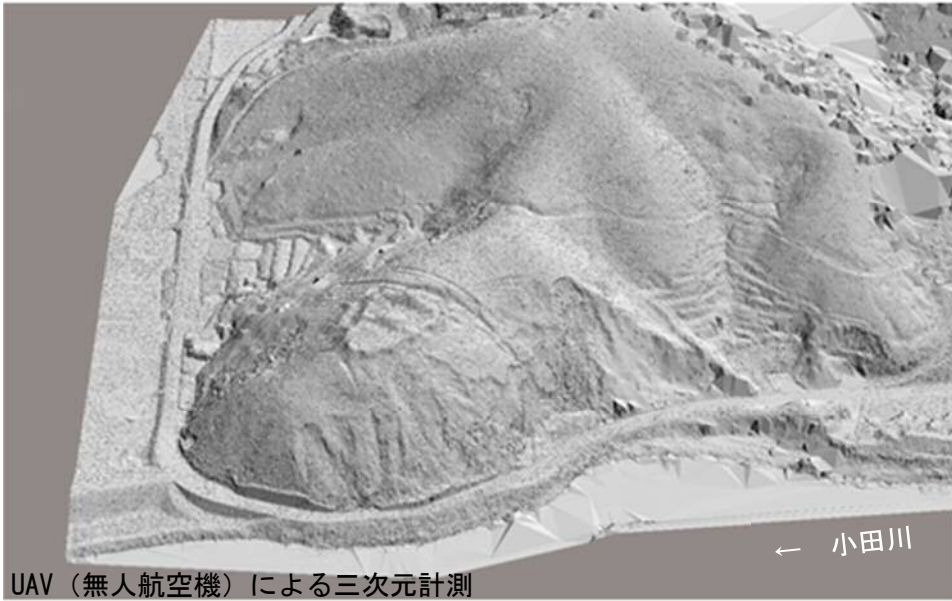


図1 南山城跡全体図 (北東上空より)

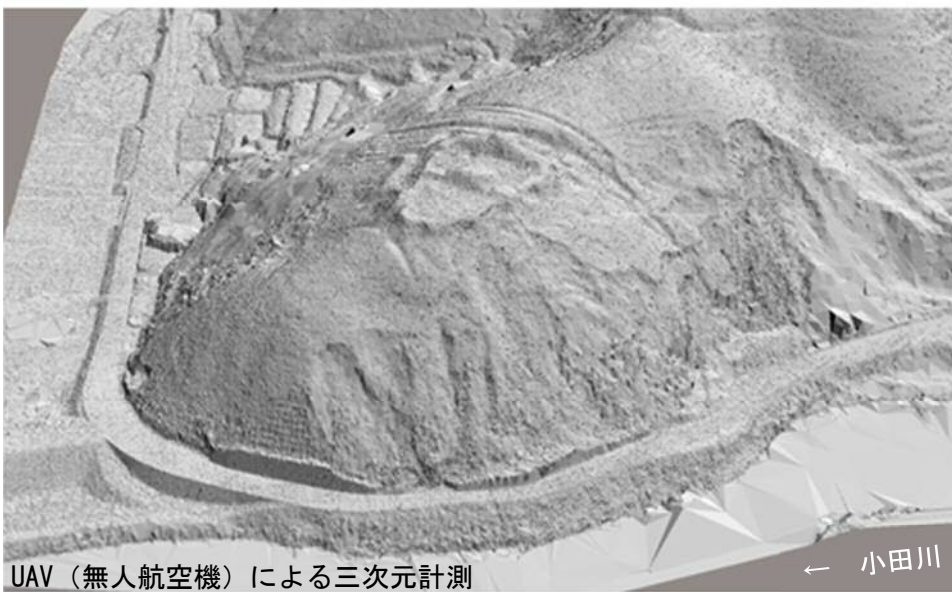
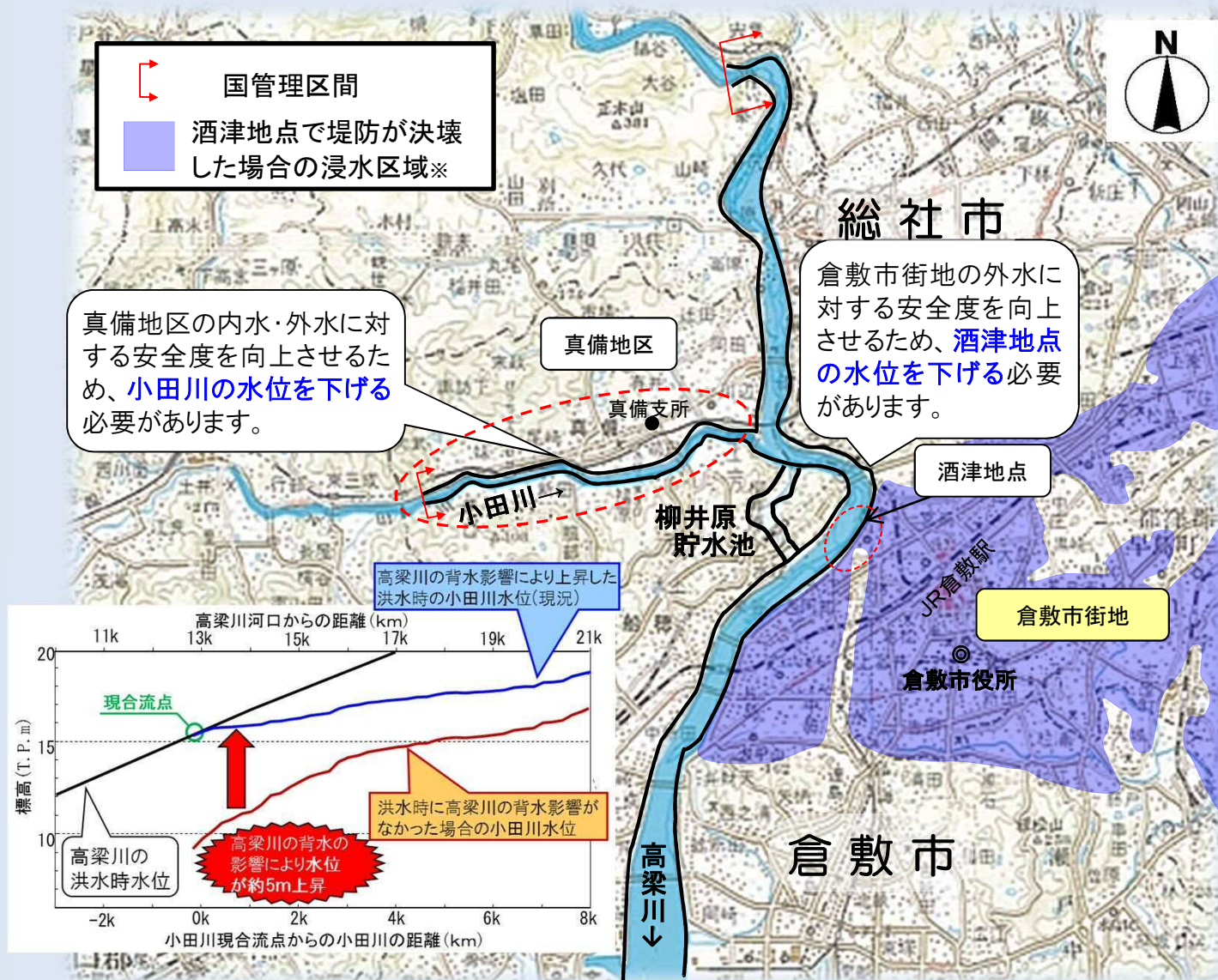


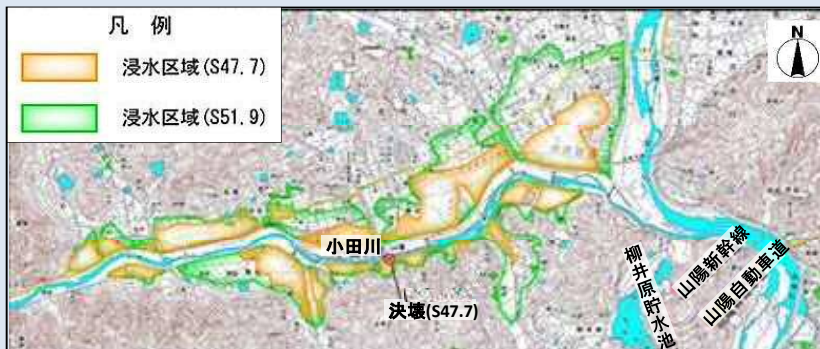
図2 南山城跡全体拡大図 (北東上空より)

現在の小田川は、洪水時に高梁川の水が小田川に回り込み、小田川の流れが阻害され、水位が高くなる特性（背水影響）を持っています。合流点付近に位置する**真備地区**では、洪水時に支川から河川への排水ができず、過去何度も内水被害を受けてきました。そのため、**小田川の水位を下げ、内水被害を防ぐ**必要があります。

また、流域で最も人口・資産が集積する**倉敷市街地**が背後に存在する**酒津地先**の安全度を向上させるため、**酒津地点の水位を下げる**必要があります。



※現時点において、計画規模の洪水が発生し、酒津地点の堤防が決壊した場合に想定される浸水区域を記載しています。詳しくは「国土交通省地点別浸水シミュレーション検索システム(浸水ナビ) <http://suiboumap.gsi.go.jp/faq.html>」を参照ください。



小田川の内水氾濫状況 (倉敷市真備地区)

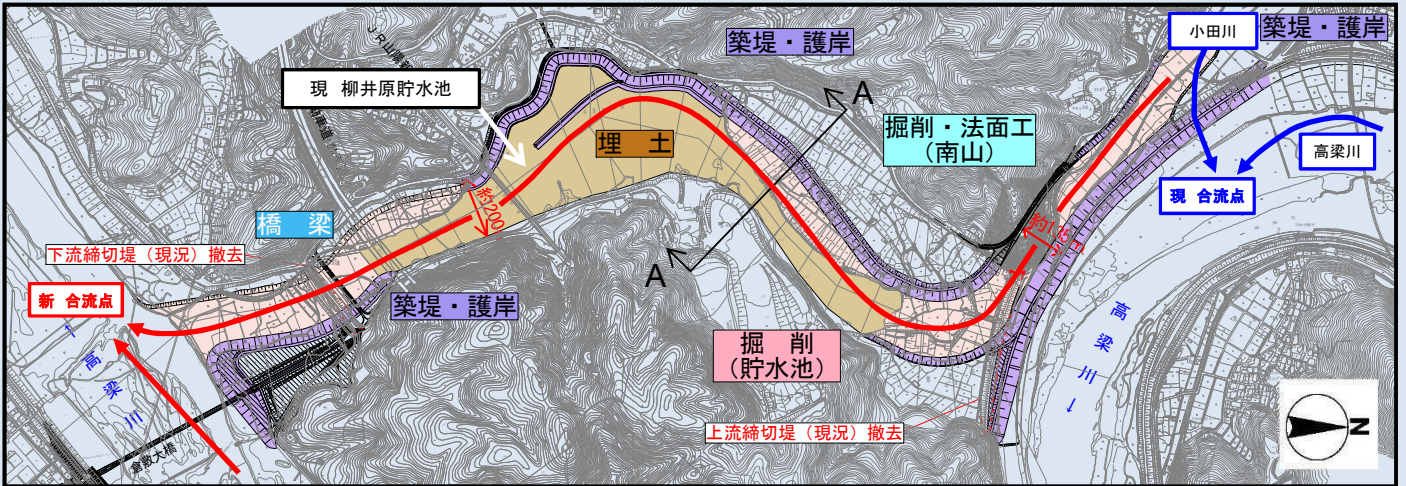
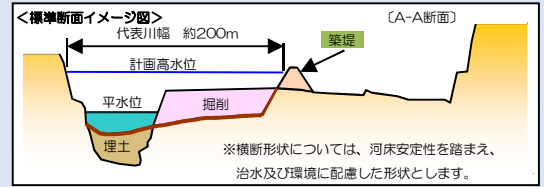
◎小田川合流点付替え事業の概要

事業内容

現在の柳井原貯水池を活用し、高梁川との合流位置を約4.6km下流へ付替え、小田川の沿川地域及び倉敷市街地における治水安全度の向上を図ります。

主な工事内容

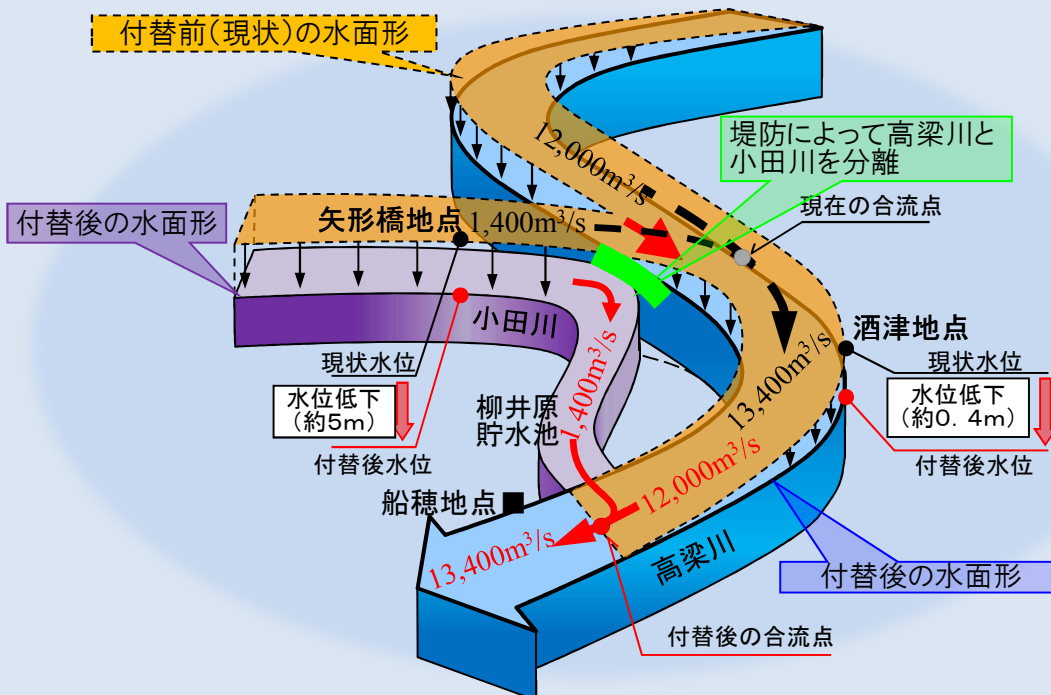
- 南山の掘削を行い、その土砂で築堤や貯水池内の埋土を行います。
- 現在の耕作地や上下流の締切堤を撤去し、小田川を付替えます。
- 下流の締切堤上を利用している道路を橋梁にします。



概略計画平面図(平成28年6月現在)

◎小田川合流点付替え事業の効果

- ◆洪水時に高梁川からの背水影響が減少し、**小田川の水位が現状より大幅に低下します。**
- ◆小田川を下流で合流させることにより、**酒津地点の洪水位も低下し、倉敷市街地の氾濫危険度を低減できます。**



※図中の13,400m³/sは、高梁川本川の治水計画において目標としている流量です。また、12,000m³/s及び1,400m³/sは、その際に各河川に流れる流量です。